

## 農林水産業 サポートへの取組み



農山漁村再エネファンド  
出資先の発電所

当金庫は、農林水産業者の協同組織を基盤とする全国金融機関として、従来から、農林水産業の生産・加工・流通に関わる運転資金・設備資金を提供し、また、農林水・商工連携による新たなビジネス機会の創出を図るなど、農林水産業に携わる方々をサポートする取組みを積極的に進めております。

## 再生可能エネルギー事業への取組み

JAグループでは、農林水産業との調和のとれた地域活性化につながる再生可能エネルギー事業に対し、地域・農業者の代表として積極的に関与することとしており、当金庫は、JA共済連(全国共済農業協同組合連合会)とともに「農山漁村再エネファンド」を立ち上げ、地域主導の再生可能エネルギー事業に対し金融面から支援する体制を構築しています。

平成26年度には、地域の耕作放棄地解消策と連動し

て取り組む太陽光発電事業への投資、地元林業関係者による木質バイオマス発電事業への投資の2件を決定しました。

今後も農林水産業の振興と地域経済の活性化に資する再生可能エネルギー事業に対し、金融面に限らず事業化に必要なサポートを、組合員や地域の方々に提供してまいります。

## 農林水産業みらい基金への応援

農林水産業と食と地域の暮らしへの貢献に向けて、当金庫が基金拠出を行い、平成26年3月に一般社団法人農林水産業みらい基金(以下、「みらい基金」)を設立しました。「創意工夫にあふれた取組みにチャレンジしている地域の農林水産業者」6件が、平成26年度助成対象事業に決定しています。

みらい基金の社員である農林中央金庫は、JA、JF、JForestグループの一員として、みらい基金が展開する農林水産業みらいプロジェクトを応援してまいります。



## 商談会の開催

当金庫は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援、輸出拡大支援、農林水産業の6次産業化による付加価値の向上、系統や業界の枠組みを超えた連携に広く取り組んでおり、「農林水産業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

平成26年度は、全国商談会・地域商談会など計10回を開催しました。また、会員・農林漁業者等の輸出サポートとして、平成26年8月、アジア最大級の食の商談会「香港

フード・エキスポ2014」に全農・全漁連・(公社)日本農業法人協会と連携し出展しました。また、海外市場動向などの情報提供や、海外バイヤーに販売戦略等の個別相談を行う輸出セミナー等も開催しています。



全国商談会



香港フード・エキスポ2014